

英国のセキュリティ会社、

違法なダイレクト・マーケティングで罰金刑を受ける



チャールズ・ロレット 著

2019年1月16日

<https://ipvm.com/reports/uk-fines-security>

英国の警備会社2社が、政府の不在リストに登録されている人々に違法に数十万件の電話をかけることに対して20万ドル以上の罰金を支払った。

IPVMによって明らかになった苦情によると、電話の中には、地元の犯罪波や設置費用が高い「無料」機器に関する疑わしい内容が含まれていた。本稿では、下記について調べている。

- 誰が罰金を科されたのか
- 苦情によりスパム、誤解を招く通話が明らかに
- 罰金総額
- 彼らはそれを乗り越えると思ったのか
- 政府と企業の反応
- アメリカの比較
- ホームセキュリティのダークな販売戦略
- GDPRとの脈絡

違法行為はGDPRの実施前に行われたため、この場合、新しい規制は何の役割も果たしていなかった。しかし、罰金はダイレクト・マーケティングの法的リスクと、GDPRの後に発生した違反に対するより厳しい政府の執行/罰金の可能性を思い出させるものだ。